



## はじめに

ここでは、『*Catalyst Supervisor Engine 32 PISA Cisco IOS Software Configuration Guide, Release 12.2ZY*』の対象読者、マニュアルの構成、および手順や情報を記述するための表記法について説明します。

## 対象読者

このマニュアルは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチの設定およびメンテナンスを担当する、経験豊富なネットワーク管理者を対象としています。

## マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	タイトル	目的
第 1 章	製品の概要	Catalyst 6500 シリーズ スイッチの概要について説明します。
第 2 章	CLI	Command Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) について説明します。
第 3 章	スイッチの初期設定	基本的な設定の実行方法について説明します。
第 4 章	Supervisor Engine 32 PISA の設定	Supervisor Engine 32 PISA を設定する手順について説明します。
第 5 章	NSF with SSO スーパーバイザ エンジンの冗長構成の設定	Nonstop Forwarding with Stateful Switchover (NSF with SSO) スーパーバイザ エンジンの冗長構成を設定する手順について説明します。
第 6 章	RPR スーパーバイザ エンジンの冗長構成の設定	Route Processor Redundancy (RPR) スーパーバイザ エンジンの冗長構成を設定する手順について説明します。
第 7 章	インターフェイスの設定	LAN インターフェイス上で、特定のレイヤに限定されない機能を設定する手順について説明します。
第 8 章	レイヤ 2 スイッチング用 LAN ポートの設定	レイヤ 2 機能 (VLAN) トランクなどをサポートするように LAN インターフェイスを設定する手順について説明します。

章	タイトル	目的
第 9 章	Flex Link の設定	Flex Link を設定する手順について説明します。
第 10 章	EtherChannel の設定	レイヤ 2 およびレイヤ 3 EtherChannel ポートバンドルを設定する手順について説明します。
第 11 章	VLAN トランキング プロトコル (VTP) の設定	VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) を設定する手順について説明します。
第 12 章	VLAN の設定	VLAN を設定する手順について説明します。
第 13 章	プライベート VLAN の設定	プライベート VLAN を設定する手順について説明します。
第 14 章	Cisco IP Phone サポートの設定	Cisco IP Phone のサポートを設定する手順について説明します。
第 15 章	IEEE 802.1Q トンネリングの設定	IEEE 802.1Q トンネリングを設定する手順について説明します。
第 16 章	レイヤ 2 プロトコル トンネリングの設定	レイヤ 2 プロトコル トンネリングを設定する手順について説明します。
第 17 章	スパニング ツリー プロトコル (STP) および Multiple Spanning Tree (MST) の設定	Spanning Tree Protocol (STP; スパニングツリー プロトコル) および先行標準 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree (MST; 多重スパニングツリー) プロトコルを設定する手順について説明します。
第 18 章	オプションのスパニングツリー プロトコル (STP) 機能の設定	STP の PortFast、UplinkFast、および BackboneFast 機能を設定する手順について説明します。
第 19 章	レイヤ 3 インターフェイスの設定	レイヤ 3 機能をサポートするように LAN インターフェイスを設定する手順について説明します。
第 20 章	単一方向イーサネット (UDE) および単一方向リンク ルーティング (UDLR) の設定	Unidirectional Ethernet (UDE; 単一方向イーサネット) および Unidirectional Link Routing (UDLR; 単一方向リンク ルーティング) を設定する手順について説明します。
第 21 章	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) の設定	Policy Feature Card (PFC; ポリシー フィーチャカード) 3B Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) を設定する方法について説明します。
第 22 章	IPv4 マルチキャスト バーチャナル プライベート ネットワーク (MVPN) サポートの設定	IPv4 Multicast Virtual Private Network (MVPN; マルチキャスト 仮想私設網) サポートを設定する手順について説明します。
第 23 章	IP ユニキャスト レイヤ 3 スイッチングの設定	IP ユニキャスト レイヤ 3 スイッチングを設定する手順について説明します。
第 24 章	IPv6 マルチキャスト PFC3B レイヤ 3 スイッチングの設定	IPv6 Multicast Multilayer Switching (MMLS; マルチキャスト マルチレイヤ スイッチング) を設定する手順について説明します。
第 25 章	IPv4 マルチキャスト レイヤ 3 スイッチングの設定	IPv4 MMLS を設定する手順について説明します。
第 26 章	IPv6 マルチキャスト トラフィック用の MLDv2 スヌーピングの設定	Multicast Listener Discovery version 2 (MLDv2) スヌーピングを設定する手順について説明します。

章	タイトル	目的
第 27 章	IPv4 マルチキャストトラフィック用 IGMP スヌーピングの設定	Internet Group Management Protocol (IGMP) スヌーピングを設定する手順について説明します。
第 28 章	PIM スヌーピングの設定	Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピングを設定する手順について説明します。
第 29 章	RGMP の設定	Router-Port Group Management Protocol (RGMP) を設定する手順について説明します。
第 30 章	ネットワークセキュリティの設定	Catalyst 6500 シリーズスイッチ固有のネットワークセキュリティ機能を設定する手順について説明します。
第 31 章	Cisco IOS ACL サポートの概要	Catalyst 6500 シリーズスイッチが Cisco IOS Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) をサポートする手順について説明します。
第 32 章	VLAN アクセス制御リスト (VACL) の設定	VLAN ACL (VACL) を設定する手順について説明します。
第 33 章	DoS からの保護の設定	Denial of Service (DoS) 保護を設定する手順について説明します。
第 34 章	DHCP スヌーピングの設定	Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) スヌーピングを設定する手順について説明します。
第 35 章	DAI の設定	Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP 検査) を設定する手順について説明します。
第 36 章	トラフィックストーム制御の設定	トラフィックストーム制御を設定する手順について説明します。
第 37 章	不明なユニキャスト/マルチキャストフラディングのブロック (UUFb/UMFB) の設定	Unknown Unicast Flood Blocking (UUFb; 不明なユニキャストフラディングのブロック) を設定する手順について説明します。
第 38 章	PFC QoS の設定	QoS (Quality of Service) を設定する手順について説明します。
第 39 章	マルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) QoS の設定	MPLS QoS を設定する手順について説明します。
第 40 章	PFC QoS 統計データエクスポートの設定	PFC QoS 統計データエクスポートを設定する手順について説明します。
第 41 章	Network Admission Control (NAC) の設定	Network Admission Control (NAC) を設定する手順について説明します。
第 42 章	IEEE 802.1X ポートベースの認証の設定	IEEE 802.1X ポートベースの認証を設定する手順について説明します。
第 43 章	ポートセキュリティの設定	ポートセキュリティを設定する手順について説明します。
第 44 章	CDP の設定	Cisco Discovery Protocol (CDP) を設定する手順について説明します。
第 45 章	単一方向リンク検出 (UDLD) の設定	UniDirectional Link Detection (UDLD; 単一方向リンク検出) プロトコルを設定する手順について説明します。
第 46 章	NetFlow データエクスポート (NDE) の設定	NetFlow Data Export (NDE; NetFlow データエクスポート) を設定する手順について説明します。

章	タイトル	目的
第 47 章	NetFlow の設定	NetFlow 統計情報収集を設定する手順について説明します。
第 48 章	ローカル スイッチド ポート アナライザ (SPAN)、Remote SPAN (RSPAN)、および Encapsulated RSPAN (ERSPAN) の設定	Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) を設定する手順について説明します。
第 49 章	SNMP ifIndex の持続性の設定	Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ifIndex の持続性を設定する手順について説明します。
第 50 章	電源管理および環境モニタ	電源管理および環境モニタ機能を設定する手順について説明します。
第 51 章	オンライン診断の設定	オンライン診断を設定する手順、および診断テストを実施する手順について説明します。
第 52 章	Web Cache Communication Protocol (WCCP) による Web キャッシュ サービスの設定	Web Cache Communication Protocol (WCCP) を設定する手順について説明します。
第 53 章	Top-N レポートの使用法	Top-N レポートの使用法について説明します。
第 54 章	レイヤ 2 traceroute ユーティリティの使用	レイヤ 2 traceroute ユーティリティの使用法について説明します。
付録 A	オンライン診断テスト	オンライン診断テストの使用法に関する推奨事項について説明します。
付録 B	略語	このマニュアルで使用している略語の定義を示します。

## 関連資料

Catalyst 6500 シリーズ スイッチの関連資料は、次のとおりです。

- *Catalyst 6500 Series Switch Installation Guide*
- *Catalyst 6500 Series Switch Module Installation Guide*
- *Catalyst Supervisor Engine 32 PISA Cisco IOS Command Reference*, Release 12.2ZY
- *Catalyst Supervisor Engine 32 PISA Cisco IOS System Message Guide*, Release 12.2ZY
- *Release Notes for Cisco IOS Release 12.2ZY on the Supervisor Engine 32 PISA*
- *Cisco IOS コンフィギュレーションガイドおよびコマンドリファレンス : Catalyst 6500 シリーズ スイッチのマニュアルで説明されていない Cisco IOS ソフトウェア機能を設定する場合には、次のマニュアルを使用してください。*
  - 『*Configuration Fundamentals Configuration Guide*』
  - 『*Configuration Fundamentals Command Reference*』
  - 『*Bridging and IBM Networking Configuration Guide*』
  - 『*Bridging and IBM Networking Command Reference*』
  - 『*Interface Configuration Guide*』
  - 『*Interface Command Reference*』
  - 『*Network Protocols Configuration Guide*』 Part 1、2、3
  - 『*Network Protocols Command Reference*』 Part 1、2、3
  - 『*Security Configuration Guide*』
  - 『*Security Command Reference*』
  - 『*Switching Services Configuration Guide*』
  - 『*Switching Services Command Reference*』
  - 『*Voice, Video, and Home Applications Configuration Guide*』
  - 『*Voice, Video, and Home Applications Command Reference*』
  - 『*Software Command Summary*』
  - 『*Software System Error Messages*』
  - 『*Debug Command Reference*』
  - 『*Internetwork Design Guide*』
  - 『*Internetwork Troubleshooting Guide*』
  - 『*Configuration Builder Getting Started Guide*』

Cisco IOS コンフィギュレーションガイドおよびコマンドリファレンスは、次の URL から入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/iosswrel/ps1835/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/iosswrel/ps1835/products_installation_and_configuration_guides_list.html)

- Management Information Base (MIB; 管理情報ベース) については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml>

# 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	目的
太字	コマンド、コマンド オプションおよびキーワードは <b>太字</b> で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x   y   z }	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[ x   y   z ]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は screen、フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 <b>太字の screen</b> フォントで示しています。
<i>italic screen</i> フォント	ユーザが値を指定する引数は <i>italic screen</i> 、フォントで示しています。
→	この矢印は、例の中の重要な行やテキストを強調するためのものです。
^	^ 記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、かぎカッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

注意は、次のように表しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

